

愛教大生とダンス公演



来月、刈谷で 部員指導教室の児童ら

子どもたちにダンスを教える愛教大ダンス部の矢野さん（中央）＝知立市福祉体育館で

愛知教育大（刈谷市）ダンス部の学生による小学校低学年向けのキッズダンス教室が知立市福祉体育館で開かれている。児童たちは三月十九日に刈谷市総合文化センターで開かれる同大ダンス部の公演にゲスト出演し、練習の成果を披露する。

知立市生涯学習スポーツ課が昨年度から開く「キッズダンス教室」。市から講師派遣の依頼を受けたダンス部員が中心となって、同市の小学一～三年生三十人にダンスを指導している。

低学年が対象だけに「ジャンプを大きく見せる」や「友達同士で体をぶつけあって、相手の動きを感じる」などダンスに通じる基本的な感覚から養うように工夫。自分の体がどう動くのかを子どもたちに伝え、楽しくダンスに親しんでもらう。

学習指導要領で必修化されたことなどで保護者らのダンスへの

関心は高まっており、本年度の教室には定員の倍となる約六十人から申し込みがあった。

教室は学生の実習の場にもなっている。教員を志望する保健体育選修二年の矢野千優さん（三〇）は「学校現場に行っても、なかなかダンスを指導する機会はない。体を動かす楽しさをどう伝えるか、考えながら教えている」と話す。

本番では人気グループ「GR ee e e N」の楽曲にあわせダンスを披露する。矢野さんは「子どもたちには初めての舞台。その姿を保護者らに褒めてもらい、やり遂げた達成感を味わってほしい」と期待する。

同公演では、ダンス部員やOGら総勢五十人が出演。ヒップホップやバレエダンスの動きを取り入れた創作ダンスなど十三作品を披露する。

午後六時開演。前売り、当日券ともに九百円。チケット申し込みはメールでダンス部＝aue danceclub@yahoo.co.jp＝へ。
（土屋晴康）